

筑波大学 総合診療科

総合医は
ひとびとの健康を支える
オールラウンダーです

これが筑波流！後期研修



総合医コースでは、「オーダーメイドにまさる研修プログラムはない」とのコンセプトのもと、レジデント一人一人の希望に合わせたきめ細かな研修プログラムを提供します。大学病院の持つ充実した教育資源とネットワーク、それを支える強力なコーディネート体制のもとで、generalistの専門医としてのコアをきっちり学びながら、自分のニーズにフィットした研修を受けることができます。

筑波大学総合診療コースはこのようなお勧めです

- 人々の抱える健康問題に対して、幅広く、包括的に、医療サービスを提供できる医師になりたい
- 地域の診療所などで継続的に人々に関わる家庭医になりたい
- 病棟でも働ける総合医になりたい
- 後期研修が終わってもフェローシップで専門性を深めたり、臨床研究を学びたい
- 仕事と家庭のバランスを取りながら総合医の「専門性」を深めたい

もっと詳しい情報は
後期研修スペシャルサイトをご覧ください

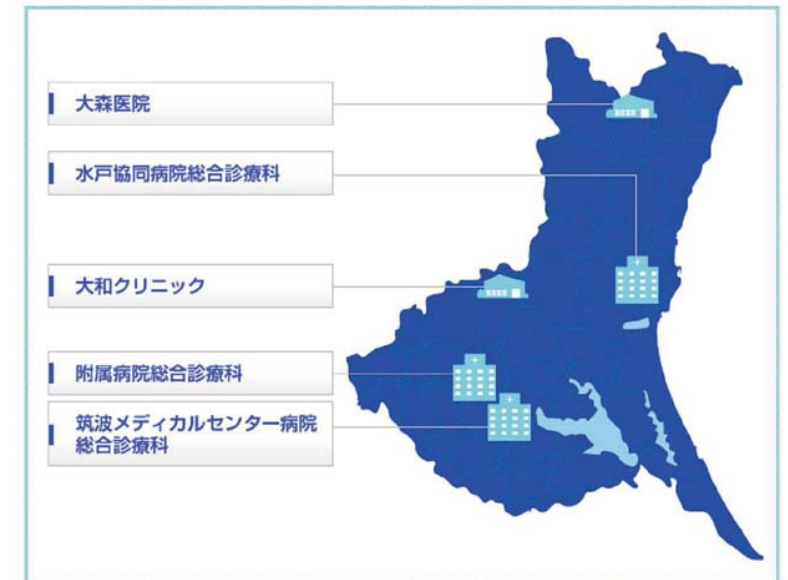
<http://soshin.pmed-tsukuba.jp/training/specialsite>



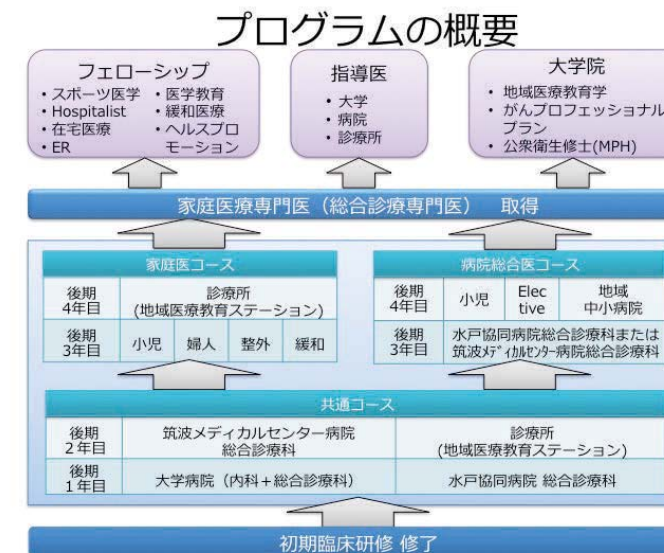
連絡先 外線 029-853-3189 内線 3189
E-mail: soshin@md.tsukuba.ac.jp

主な研修施設

- ・筑波大学病院
- ・筑波メディカルセンター病院
- ・水戸協同病院
- ・診療所 (大森医院、大和クリニック、利根町国保診療所)
- ・緩和ケア



当科のキャリアパス



シニア課程 (卒後3・4年目) 共通コースとして内科・総合診療科でジェネラリストとしてのしっかりとした基盤を作る研修を行います。

チーフ課程 (卒後5・6年目) レジデントの希望に合わせて家庭医と病院総合医の二つのプログラムに分かれて、さらに専門医を取得できるそれぞれ研修する構造になっています

総合医コース終了後
病院大学院進学、フェローシップ、大学病院・一般病院で指導医になるなどの選択肢があります。個人の希望に応じてキャリアコーディネートします。

研修終了後に取得可能な資格

- ・内科認定医 (共通プログラム)
- ・家庭医療専門医 (家庭医プログラム)
- ・総合内科専門医 (病院総合医プログラム)



多くの仲間と共に

レジデントの声

「どこでも使える (役立てる) 医師になりたい」
「common diseaseをそつなくスマートに治療したい」
それが私の目標

ここ筑波大総診グループには、診断学や身体所見のノウハウを学ぶ機会、総合診療医にとって必要なコミュニケーション能力を高める場所、専門研修を受け入れてもらえる環境があります。現在は病院総合医を目指して筑波大学付属病院水戸地域医療教育センター・水戸協同病院で研修しています。専門医と相談しながらあらゆるProblemと向き合い、どうしたらスマートに管理できるかを考えながらトータルコーディネートをする。そんな環境に魅力とやりがいを感じながら、日々研修しています。私自身は病院主体で研修していますが、診療は病院だけで完結するものではありません。地域医療を考え、クリニックや在宅へ上手引き継ぎ、また受け取る事が重要と日々感じています。引き継ぎ方を考える上で、筑波には在宅のプロたちもいます。救急を含む病院総合医から在宅診療医、緩和ケア医まで同じグループのなかでコミュニケーションが密にとれるのが「強み」です。

一緒にオールラウンダー・Generalistを目指して頑張ってみませんか？

五十野 桃子、チーフレジデント2年

高橋 弘樹、シニアレジデント1年